

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域密着の現状に満足することなく、更なる向上を目指す。	近隣の方々がいつでも気軽に訪れて頂けるような環境を整え、認知症に対する知り得た知識を発信し、地域の拠点となれるよう努力し共存したい。	近隣への散歩などを行い顔なじみをつくる。地域推進会議などを利用し、自治会長、民生委員、近隣に住む職員、家族の方々に協力して頂く。各行事(納涼祭、敬老会、区内の幼稚園、小学校の運動会)の情報収集を行い極力参加したり、参加して頂ける様に地域に呼びかける。	12ヶ月
2	12	長期入居者の方々が年齢を重ね、ADL低下により身体介護の必要度が高まってきた為、職員の介護技術の向上が望まれる。	ADLの低下が見られても、出来るだけホームでの変わらない生活を支援出来る様に、職員一人一人が状況に応じた介護技術を身に付ける。	全職員が担当月を決め、2ヶ月に一度行われる、全体会議を通し介護技術講義を受け持ち学びの場とする。講義の内容は身体介護を中心したレベルアップを目指す。又、併設医療法人の老人保健施設、病院、外部の勉強会などに参加する。	12ヶ月
3	13	災害時(火、風、水、大地震)などに、地域との連携強化に向けた取り組み。	推進会議などを通じ、民生委員、自治会長、近隣住民、家族、職員などが連携し合って互いに災害時の速やかな避難などの連携を行う。	地域推進会議時を利用し具体的な避難協力方法につて話し合う。近隣の方々と協力し合う簡単な避難マニュアルなどを作成し配布する。災害に応じた避難場所を決めておく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。